

北陸地方整備局  
松本砂防事務所

記者発表

発表日時

平成25年7月17日

配布をもって解禁

## 優良工事等の表彰について

優良工事等の表彰は、松本砂防事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的としています。

つきましては、平成24年度完成の優良工事等について選定し、下記のとおり表彰式を実施しますのでお知らせ致します。

なお、局長表彰は披露のみとなります。

- 日時 平成25年7月24日(水)  
10時30分～11時00分
- 場所 国土交通省 松本砂防事務所 2階 入札室  
松本市元町1丁目8番28号  
TEL0263-33-1115

お問い合わせ先 北陸地方整備局 松本砂防事務所  
Tel 0263-33-1115 (代表)  
副 所 長 地 中 浩  
工 務 課 長 森 茂

## 優良工事等の事務所長表彰について

### 1. 目的

優良工事等の事務所長表彰は、事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備をめざすとともに、建設技術の向上等に資することを目的としています。

### 2. 平成25年度の選定結果

平成24年度に完成した工事等の中から選定された優良工事等は下記の通りです。

区 分		選定数	備 考	
工 事 関 係	優良工事		完成工事全数：28 件	
	局長表彰	1 件		
	事務所長表彰	1 件		
	優良建設技術者			
	局長表彰	1 名		
業 務 関 係	優良委託業務		完成業務全数：52 件	
	局長表彰	1 件		
	事務所長表彰	1 件		
	優良建設技術者			
	局長表彰	1 名		
	事務所長表彰	1 名		

### 3. 選定要件

・工事等：安全管理、工程管理並びに出来形及び品質、出来ばえ等の施工管理が優秀であり、さらに、創意工夫、コスト縮減、リサイクル等に積極的に取り組むなど、他の模範となるもの。

・委託業務等：業務目的を十分理解の上、調査・解析等の専門技術力、工程・品質等の管理技術力に優れ、的確な成果の取りまとめを行うとともに、課題解決に向けた積極的な取り組みがみられるなど他の模範となるもの。


### 4. 表彰結果活用

表彰結果は、入札契約に係る総合評価落札方式等の企業評価資料として活用します。

平成24年度完成 優良工事〔事務所長表彰〕

番号

1

受注者	川瀬建設株式会社	事務所名	松本砂防事務所
	代表取締役 川瀬 雄一	工期	平成23年9月8日 ～ 平成24年9月28日
	長野県松本市奈川2327番地	請負金額	111,930千円
工事名	金原砂防堰堤魚道工工事	工事場所	長野県松本市奈川黒川渡地先
工事内容	<p>本工事は長野県松本市奈川黒川渡地区における魚道整備工事である。                  当該地域ではサクラマス等が重要な観光資源であり、これらの生息域を拡大することで地域の自立的発展に寄与するものである。</p> <p>・砂防土工 1式 ・魚道工 107m ・擁壁工 1式 他</p>		
選定理由	<p>魚道の基礎的維持管理を地域に引き継ぐこととなるため、魚の遡上を確実にすることに加え、メンテナンス性に優れ、長期間にわたり地域に親しまれる魚道を整備することが求められていた。</p> <p>川瀬建設(株)はその高い要求に答えるため、地域住民・発注者・受注者の3者が価値観や目的を共有化し、相互協力を図る「三方よし」の取組を中心となり行った。漁協や地域関係者との現地立会・打合せは7ヶ月間で計5回にも及び、全員が納得するよう丁寧な施工に努めた。</p> <p>この為、工程管理は複雑化したが、関係者間の目的意識や責任感の醸成、地域の社会資本整備へのイメージを一新することに繋がった。</p> <p>以上、他の模範となる取組を率先して行い、無事故で高い品質の魚道を整備した。</p>		
完成写真			

受注者	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	事務所名	松本砂防事務所
	理事長 近藤 浩一	業務名	火山災害に対する危機管理計画検討業務
	東京都千代田区九段南4丁目8番21号	工期	平成24年 8月21日 ～ 平成25年 3月25日
		請負金額	13,440千円
選定理由	<p>焼岳は、明治から昭和初期にかけて水蒸気噴火により大正池の形成を行い、また、昭和37年にも水蒸気噴火が起こるなど火山活動が活発な火山である。</p> <p>本業務は、焼岳の噴火活動が活性化した場合の危機管理計画を検討するもので、上高地の観光客への情報提供や避難活動等の支援について、各行政機関との連携をもとにシナリオシミュレーション方式の対応訓練を行った。訓練のシナリオとしては静穏期から火山性異常検知までの時系列をフォローし、火山噴火時の課題を抽出し、防災計画に反映させるための資料をまとめた。</p>		

技術者	比留間 雅紀 (管理技術者)	事務所名	松本砂防事務所
		業務名	火山災害に対する危機管理計画検討業務
	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター  東京都千代田区九段南4丁目8 番21号	工期	平成24年 8月21日 ～ 平成25年 3月25日
		請負金額	13,440千円
選定理由	本業務は、焼岳の噴火活動が活性化した場合の危機管理計画を検討するもので、各行政機関との連携をもとに全国でもまだ事例が少ないシナリオシミュレーション方式による対応訓練を行った。上記管理技術者は、その訓練シナリオの作成に係る技術的な検討を行い、訓練の効果を最大限把握できるように調整を行った。訓練の結果については、多変量解析を用いて分析を行い防災計画に反映させるための資料をまとめた。		

平成24年度完成 優良工事〔局長表彰〕

番号

1

受注者	株式会社 相模組	事務所名	松本砂防事務所
	代表取締役 相模 一男	工期	平成24年2月23日 ～ 平成24年12月21日
	長野県大町市大町3052	請負金額	185,692.5千円
工事名	浦川下流第1号砂防堰堤補強その2工事	工事場所	長野県北安曇郡小谷村北小谷地先
工事内容	作業土工(床掘り 6,600m <sup>3</sup> 、埋戻し 750m <sup>3</sup> ) コンクリート堰堤本体工(コンクリート 3,455m <sup>3</sup> 、型枠ブロック 442個、残存型枠 131m <sup>2</sup> ) 構造物取壊し工(根固めブロック撤去 282個) 迂回路工 一式		
選定理由	本工事は、浦川上流域の金山沢、唐松沢合流点から約1キロ下流に位置する浦川下流第1号砂防堰堤の補強工事で、施工は直上流に型枠ブロックを用いた砂防堰堤を構築するものである。 当工事箇所は、日本有数の荒廃溪流である浦川上流域であり、資材運搬路は狭隘な生活観光道路を利用しなければならなかった。請負者は、これらの現場条件下で、環境への配慮・土石流対策・早出打設によるコンクリートの品質向上と他現場との打設重複を避ける打設計画など、環境・安全及び品質の対策に積極的に取り組み、無事故で工事を完成させた。		
			
<p>施工箇所全景</p>		<p>型枠ブロックを用いたコンクリート打設状況</p>	

## 平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

1

受注者	株式会社 パスコ 長野支店	事務所名	松本砂防事務所
	支店長 伊藤 雅則	業務名	金山沢不安定土塊対策概略検討業務
	長野県長野市緑町1605番地14	工期	平成24年 9月11日 ～ 平成25年 3月25日
		請負金額	23,163千円
選定理由	<p>姫川水系浦川の源頭部にある稗田山は、明治44年に大崩壊を起こし、流下した土砂は姫川本川の合流点で河道閉塞を起こし流域に大きな被害を出した。その時の流出した土砂量は1億5千万m<sup>3</sup>と言われている。稗田山が崩壊した土塊は、金山沢の源頭部に不安定な状態で残っており、今までに融雪や降雨等により土砂の流出が続いている。</p> <p>本業務は、金山沢の源頭部に残る不安定な土塊の動態を明らかにするとともに土砂流出に伴う下流への影響及び対策について概略検討を行ったものである。</p> <p>本業務の検討にあたっては、不安定土塊の土砂移動の状況を明らかにすることが重要であり、土塊の移動状況を面的に把握すると同時に、移動している土塊先端部を高精度で把握するための地上レーザ計測を行うなどして、土塊の移動状況について把握することができた。</p> <p>この結果から土塊の崩壊シナリオを検討し崩壊シミュレーションにより下流への影響及び対策工、今後のモニタリング計画について概略検討を行った。</p>		



平成24年度完成 優良建設技術者(工事)〔局長表彰〕

番号	1
----	---

技術者	長澤 謙児 (監理技術者)	事務所名	松本砂防事務所
		工事名	浦川下流第1号砂防堰堤補強その2工事
		工事場所	長野県北安曇郡小谷村北小谷地先
	株式会社 相模組	工期	平成24年2月23日 ～ 平成24年12月21日
	長野県大町市大町3052	請負金額	185,692.5千円

工事内容	作業土工(床掘り 6,600m <sup>3</sup> 、埋戻し 750m <sup>3</sup> ) コンクリート堰堤本体工(コンクリート 3,455m <sup>3</sup> 、型枠ブロック 442個、残存型枠 131m <sup>2</sup> ) 構造物取壊し工(根固めブロック撤去 282個) 迂回路工 一式
------	---

選定理由	<p>本工事は、浦川上流域の金山沢、唐松沢合流点から約1キロ下流に位置する浦川下流第1号砂防堰堤の補強工事で、施工は直上流に型枠ブロックを用いた砂防堰堤を構築するものである。</p> <p>当工事箇所は、日本有数の荒廃溪流である浦川上流域であり、資材運搬路は狭隘な生活観光道路を利用しなければならなかった。請負者は、これらの現場条件下で、環境への配慮・土石流対策・早出打設によるコンクリートの品質向上と他現場との打設重複を避ける打設計画など、環境・安全及び品質の対策に積極的に取り組み、無事故で工事を完成させた。</p>
------	--

<p>専用吊金具を使用した据付状況</p>		<p>内部からの充填打設と打継面の明示</p>	
<p>アイアンフォーク仕様のBHIによる撤去状況</p>		<p>専用のブラケット式足場</p>	
<p>分別式ゴミステーション</p>		<p>国道わきでのゴミ拾い</p>	



## 平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

1

技術者	横田 浩 (管理技術者)	事務所名	松本砂防事務所
		業務名	金山沢不安定土塊対策概略検討業務
	株式会社 パスコ 長野支店	工期	平成24年9月11日 ～ 平成25年3月25日
	長野県長野市緑町1605番地14	請負金額	23,163千円
選定理由	本業務は、姫川水系浦川の源頭部にある不安定土塊の挙動調査と崩壊シナリオの検討及び崩壊シミュレーションによる下流への影響、対策工の検討をするものである。 検討にあたっては、不安定土塊の挙動について正確に観測する必要があるが、上記管理技術者は、移動杭観測や地上レーザ計測の他過年度のレーザ計測データやオルソ写真などの解析から現在の土塊の挙動について把握し、今後のモニタリング計画を立案した。		